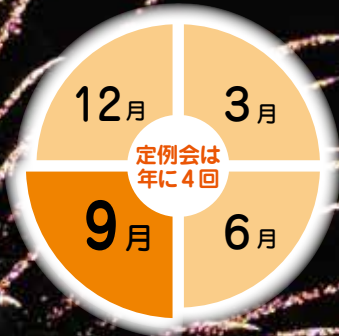


No.234

令和7年9月定例会

にいざ市議会だより



市制施行55周年記念 第29回柳瀬川ふれあい祭りの花火

目次

P2 令和6年度決算を認定

P3 新座市にこんな意見をしました
令和6年度決算認定に当たり意見を提出
議会のことば
委員会レポート
陳情

P4 新座市のこんなことが決まりました
9月定例会議案審議

P5~10 新座市のこんなことを聞きました
一般質問ダイジェスト

P11 全員協議会から
新座市公共施設再配置計画の検討状況等について など

P12 議案の審議結果

Pick up

新座市一般会計補正予算 (第5号) を可決

普通交付税の交付決定額が当初予算を上回ったことによる地方交付税の増額等のほか、市民総合体育館屋外トイレ整備工事等について計上するもので、歳入歳出予算に18億685万6,000円を追加し、総額を667億7,721万4,000円とするものとして議会に提出されました。



■屋外トイレ整備予定地（総合運動公園マレットゴルフ場付近）

議会日誌

8月

27日 第3回定例会開会

9月

12日 都市高速鉄道12号線特別委員会

16日 議会運営委員会

22日 議会運営委員会

24日 議会改革特別委員会

25日 第3回定例会閉会

29日 全員協議会

30日 朝霞地区一部事務組合議会定例会

30日 志木地区衛生組合議会定例会

14日 厚生常任委員会行政視察（善通寺市、丸亀市）

17日 議会運営委員会

20日 寄居町行政視察来訪

21日 建設常任委員会

22日 朝霞地区議長会議員研修会

23日 北海道伊達市行政視察来訪

29日 議会改革特別委員会

29日 愛知県豊橋市行政視察来訪

4日 文教生活常任委員会

5日 行政視察（盛岡市、多賀城市、大崎市）

10日 建設常任委員会行政視察（宗像市、武雄市）

21日 議会運営委員会

27日 党・会派代表者会議

27日 議会運営委員会

27日 第4回定例会開会

開会日
11月27日(木)

会期日程はHPに掲載
しています。

新座市議会

検索



にいざ市議会だよりをスマートフォンへ配信します。



フローズアップ

令和7年9月定例会

令和6年度決算を認定

一般会計

質疑では、「財政調整基金の令和6年度末現在高は55億3千61万円、5年度末は65億5千617万円だが、県内40市の中では多いほうか。近隣の朝霞市、志木市及び和光市と比べてどうか」「経常収支比率98・7％という過去最高に達した要因とその分析は」「敬老祝金について、市民から、他市では77歳・88歳で祝金があるのに新座市にはないという声を聞くが、制度の復

活を検討しているか」「止水板の設置費補助の予算執行率が1・1％と大半が不用額となっており、交付件数もわずか4件だった。令和6年度は100件を超える床上・床下浸水が発生した年だったが、利用が進まなかった理由は」「保育士宿舍借上支援事業費補助金が減り続けているが、この結果をどう見ているか。人材確保のために他の補助制度を検討する必要があるのではないか」「学校水泳指導委託について、令和5年度には3校

が行い、6年度は2校増えて5校が実施したが、他の学校との差が出ていないか」「配偶者暴力相談支援センターを令和6年度からスタートさせたが、どのような相談があったのか、またどのような人員体制で行われているのか」「放課後児童保育室の指定管理料の不用額がかなりの金額になっているが、なぜこんなに不用となったのか」などがあり、4常任委員会に分割付託して審査した。

本会議では、「物価高騰で市民の暮らしはずっと大変である。本市は国の交付金を活用した物価対策は行ったが、財政が大変だと言いつつ、経年で見れば基金は増えているのに、削減した障がい者や高齢者等の他市に先駆けて作った優れた福祉制度は元に戻さなかった」「（仮称）三軒屋公園等複合施設の整備については、DBO方式ではなく公設公営のほうがよい」「本市の財政が大変だとは思わない。経常収支比率と財政調整基金の2つの指標をもって財政が大変だと考えるのは直したほうがよい」などの反対討論、「市民サービスの根拠となる市税の徴収率が前年と比べて0・25％プラスの98・76％となり、担当部署が大変努力されたことを評価する」「物価高騰対策としてのキャッシュレス決済ポイント還元、学校給食支援、子育

て世帯支援等、市民生活を直接的に支える事業が実施された。また、公共施設での省エネ設備導入や再エネ活用といった受益者推進、行政手続のオンライン化やA・RPAの活用、生成A・Rサービスの導入といったDX推進も進展し、利便性向上と業務効率化に寄与した。防災面でも、集中豪雨での対応や備蓄体制の強化、自主防犯パトロール団体への支援等、地域の安全・安心を守る取組が進められた」「市税の収納率向上、市内事業者に配慮した地域経済活性化策、クラウドファンディングでの市制施行55周年記念プロジェクト、企業版ふるさと納税等、歳入確保に努めた施策が実施された。また、市の将来を見据えての取組が必要な施策、市民生活を直撃する物価高騰への対策、安全・安心を確立するための事業、都市基盤整備、少子化対策、子育て・教育施策の充実、健康福祉政策、施設の老朽化対策等、幅広く、厚く各事業を進められた」「厳しい財政の中で職員が色々と工夫し、施策に取り組む、事業に向き合っていたいただき高く評価する」などの賛成討論の後、4常任委員会委員長報告のとおり賛成多数で認定した。

特別会計

国民健康保険事業

質疑では、「国民健康保険に加入している外国籍の方は何人いるか。また、外国籍の方の医療費はいくらで、本市の医療費に占める割合はどのようになっているか」があり、厚生常任委員会に付託して審査した。

本会議では、「令和6年度は赤字になるからということで値上げしたが、実際には黒字だった。繰越金を見ていれば値上げの必要はなかった。また、県内の大半の市が今も一般会計から繰入金を入れている。国や県の言いなりにならず、もっと市民に目線を置いたほうがよい」などの反対討論、「今後も職員にはしっかりと管理、運営していただけるようお願いする」などの賛成討論の後、委員長報告のとおり賛成多数で認定した。

介護保険事業

厚生常任委員会で審査し、本会議では、委員長報告のとおり賛成多数で認定した。

後期高齢者医療事業

厚生常任委員会で審査し、本会議では、委員長報告のとおり賛成多数で認定した。

新座駅北口土地区画整理事業

建設常任委員会で審査し、本会議では、委員長報告のとおり全会一致で認定した。

水道事業会計

建設常任委員会で審査し、本会議では、委員長報告のとおり全会一致で原案可決及び認定した。

公共下水道事業会計

建設常任委員会で審査し、本会議では、委員長報告のとおり全会一致で原案可決及び認定した。



改修工事が行われた総合運動公園陸上競技場

令和6年度会計別決算額

会計名		歳入（収入）	歳出（支出）	差引額
一般会計		673億3,629万4,022円	646億9,588万9,000円	26億4,040万5,022円
特別会計	国民健康保険事業	142億3,459万9,991円	140億7,893万4,940円	1億5,566万5,051円
	介護保険事業	133億5,207万4,179円	132億422万1,673円	1億4,785万2,506円
	後期高齢者医療事業	26億11万175円	25億964万2,431円	9,046万7,744円
	新座駅北口土地区画整理事業	11億5,779万338円	10億8,075万6,356円	7,703万3,982円
水道事業会計（税抜き）	収益的収支	26億7,203万3,521円	25億9,798万8,399円	7,404万5,122円
	資本的収支	4億9,271万1,700円	8億2,959万1,045円	▲3億3,687万9,345円※
公共下水道事業会計（税抜き）	収益的収支	33億9,153万4,350円	31億724万6,049円	2億8,428万8,301円
	資本的収支	6億2,394万6,387円	17億7,707万8,226円	▲11億5,313万1,839円※

※ 資本的収支において不足する額については、過年度分損益勘定留保資金等で補填しました。

令和6年度主要な施策の成果の一部

事業名	支出額	実施内容
新座市物価高騰対策	2億8,357万8千円	エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた個人や事業者を支援するため、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、市独自の物価高騰対策第12弾として、様々な事業を実施した。
グリーン・トランスフォーメーション(GX)の推進	1億4,489万6千円	令和4年5月20日にゼロカーボンシティ宣言を表明し、2050年までに二酸化炭素等の温室効果ガスの排出を実質ゼロにすることを目標にしており、環境省の地域脱炭素移行・再エネ推進交付金を活用し、地域脱炭素移行・再エネ推進事業計画(重点対策加速化事業)に定める事業を中心に、二酸化炭素の排出量の削減に係る様々な事業を実施した。
デジタル田園都市国家構想交付金を活用したDXの推進	6,741万4千円	デジタルを活用した地域の課題解決や魅力向上の実現に向けて、自主的な取組を行う地方公共団体に対し、その事業の立ち上げに必要な経費を支援するデジタル田園都市国家構想交付金(デジタル実装タイプ)を活用し、デジタル・トランスフォーメーション(DX)の推進に取り組んだ。
定額減税補足給付金(調整給付)の支給	11億2,842万円	定額減税の恩恵を十分に受けられない者に対し、定額減税補足給付金を支給した。
野寺放課後児童保育室の整備	2億3,158万5千円	野寺放課後児童保育室における狭あい化の解消を図るため、野寺小学校敷地内に新たに放課後児童保育室を建設することとし、工事に着手した。
総合運動公園陸上競技場の改修	2億6,236万2千円	総合運動公園陸上競技場について、第3種公認取得に向けた競技場改修工事及び備品整備を実施した。
大和田水辺の丘公園の整備	4億4,686万6千円	大和田二・三丁目地区土地区画整理事業で生み出された大和田水辺の丘公園について、大和田二・三丁目地区の魅力向上や活性化を目的とし、水遊び大型遊具を配置した公園を整備した。

クローズアップ

令和7年9月定例会

新座市にこんな意見をしました

令和6年度決算認定に当たり意見を提出

一般会計

総務常任委員会

災害時及び災害復旧時は、一部の職員に負担が集中しないように検討すること。また、職員の心身のケアを図る仕組みづくりを検討すること。

文教生活常任委員会

1 ゼロカーボン推進に向けて、事業者の再エネ・省エネ設備導入を促すPRを強化すべきである。

2 地域経済活性化のため、商業や農業への支援策を強化すべきである。

3 振り込め詐欺、消費者トラブル等の被害防止のための施策を充実すべきである。

4 不登校及びいじめの未然防止並びにその解決に向けた対策を強化すべきである。

5 障がいのある児童・生徒に寄り添ったインクルーシブ教育の推進のために、十分な体制を整えるべきである。

厚生常任委員会

1 地域子育て支援センターが、地域の子育て支援拠点としての役割を十分に果たせるよう支援すべきである。

2 30代からだチェック事業について、周知をよくし、需要に応じた拡充を検討すべきである。

3 障がい者の就労支援や社会参加の先進事例を調査・研究し、更なる推進を図るべきである。

4 虐待防止や育児不安の解消に向け、情報交流、相談機能の充

実を図り、家庭に寄り添った子育て支援体制を引き続き拡充すべきである。

5 保育士不足の解消に向け、処遇改善を進めるべきである。

6 放課後児童保育室の支援員の処遇改善を進めるべきである。

7 国と県に、こども医療費への助成拡充を要請すべきである。

8 がん検診の受診率を高め、早期発見、早期治療、疾病予防に更に努めるべきである。

9 高齢者に働きがいと生きがいを与える事業を展開している「公益社団法人新座市シルバー人材センター」に対する支援を、更に強化すべきである。

建設常任委員会

1 子どもたちが安全にのびのびと遊べる公園・広場を充実させるべきである。

2 柳瀬川、黒目川、野火止用水については、草刈り清掃等を充実させ、河川環境の向上に努めるべきである。

3 みどりの環境の保全に引き続き努めるべきである。

4 都市高速鉄道12号線の延伸促進については、課題解決に向けた調査・研究を行い、東京都、埼玉県及び関係市区と連携・協力を図り、市民・関係地権者等に対して適切な情報の提供に努めるべきである。

5 耐震診断・耐震改修については、耐震化促進に関わる制度の周知を図り、推進に努めるべきである。

6 市民の声を広く取り入れ、地域公共交通の整備を検討・推進

すべきである。

7 道路改良費及び道路維持補修費の確保及び確実な執行に努めるべきである。

8 自転車マナー・交通安全啓発を強化すべきである。

特別会計

厚生常任委員会

◎国民健康保険事業

1 特定健康診査の受診率を高め、市民の疾病予防及び健康維持に努めるべきである。

2 レセプト審査等の事業は、引き続き強化すべきである。

3 18歳までの均等割を廃止するよう、強く国に要請すべきである。

◎介護保険事業

1 介護従事者の処遇改善及び育成を進め、介護人材の確保に努めるべきである。

2 認知症の方やその家族への支援拡充及び相談窓口の体制強化に努めるべきである。

3 市民が自分らしく、いきいきとした自立生活が送れるように、介護予防事業のさらなる施策の充実を図るべきである。

4 高齢者相談センターの体制を強化し、地域包括ケアシステムの構築に向けて努力を続けるべきである。

水道事業会計

建設常任委員会

1 水道管の耐震化及び老朽化対策は、更に推進すべきである。

2 技師の確保と技術の継承に引き続き努めるべきである。

公共下水道事業会計

建設常任委員会

1 「新座市雨水管理総合計画」に基づき浸水対策工事を進め、今後の集中豪雨対策に努めるべきである。

2 下水道管の耐震化及び老朽化対策は、更に推進すべきである。

3 技師の確保と技術の継承に引き続き努めるべきである。



新座市イメージキャラクター
ゾウキリン

手軽にスマートフォンで 議会だよりが見られます

市議会では、議会だよりをより多くの皆さんに提供できるよう、スマートフォン・タブレット向け無料アプリ「マチイロ」を導入しています。

この無料アプリをダウンロードし登録すると、いつでもどこでもスマホなどで議会だよりを読むことができます。是非御利用ください。



▼アプリのダウンロードは
こちらから



議会のことば

○定例会と臨時会

定例会は定期的に開催する議会で、毎年4回（原則として、3月、6月、9月、12月に招集）行つと条例で決められています。

臨時会は臨時的に、あるいは緊急の必要がある場合に、特定の事件に限り、これを審議するため随時招集される議会です。

○議案

議会の議決を要する案件のことで、市長が提案するものと議員又は委員会が提案するものがあります。予算や決算、副市長の選任などの議案は市長しか提出できません。

議員が議案を提出するためには、議員定数の12分の1（新座市議会は提出者を含め3人）以上の賛成が必要となります。

○表決

議員が賛成・反対の意思を表明することで、表決の方法には起立によるもの、投票によるもの、簡易なもの（異議がないかを語り、ない場合に可決とする方法）があります。

○議決

議案などに対し、表決の結果得られた議会の意思決定のことです。

●可決・否決

「条例、予算、意見書、決議、その他」に関する議案

●認定・認定しない

「決算」に関する議案

●承認・承認しない

「専決処分」に関する議案

●同意・同意しない

「人事案件」に関する議案

●採択・不採択・趣旨採択

請願・陳情

陳情

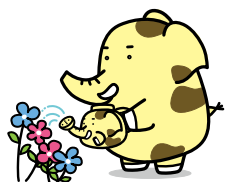
今定例会で審査した陳情

陳情第5号

違反建築物への対応に関する陳情書

付託常任委員会 建設

委員会審査結果等 継続審査





クローズアップ

令和7年9月定例会

新座市のこんなことが決まりました

9月定例会 議案審議

定額減税不足額給付金事業に必要な経費を措置

令和7年度新座市一般会計補正予算（第4号）を可決

既定の歳入歳出予算に、2億7千96万5千円を追加し、総額を69億7千35万8千円とするものである。

本補正予算は、定額減税不足額給付金事業について、支給対象者数及び支給金額が見込みを上回るため、必要な経費を予算措置するもので、財源については国庫支出金を計上するものである。
本会議では、全会一致で可決した。

市民総合体育館屋外トイレ整備工事など

令和7年度新座市一般会計補正予算（第5号）を可決

既定の歳入歳出予算に、18億685万6千円を追加し、総額を67億7千21万4千円とするものである。

歳入については、普通交付税の交付決定額が当初予算を上回ったことによる地方交付税の増額等について予算措置するものである。
歳出については、市民総合体育館屋外トイレ整備工事等について予算措置するものである。

本補正予算の収支差金は、財政調整基金に積み立てるもので、積立後の残高は、41億8千50万6千円となる。

継続費については、第二中学校校舎長寿命化改修事業に係る事業

費の変更に伴い、総額及び年割額を変更するものである。

質疑では、「補正予算後の財政調整基金残高は41億8千50万6千円となり、前年度同時期と比較して約6億円減少している。このことから、令和8年度当初予算編成時にはこれまで以上に厳しいものとなることが予想されるが、市としてどのような見通しを持っているのか」「財政調整基金残高は約42億円となり、新・財政健全化ガイドラインに掲げる通年で35億円を確保するという数値目標は形式上達成しているように見えるが、単年度末の残高のみで健全性を判断すべきではなく、翌年度以降も通年で維持できるかどうか重要である。財政健全化の持続性を確保するためには早期の対策と取組が必要と考えるが、市の認識を伺う」

「第二中学校校舎長寿命化改修事業について、歳入のほうでは学校施設整備繰入金から8千626万9千円を繰り入れるとしているのに対し、歳出のほうでは6千545万4千円を増額するとなっている。この2つの数字の差をどう見るのか」

「第二中学校校舎長寿命化改修事業について、継続費の変更額と補正増の額は一致しているが、継続費の最終年度である令和7年度の年割額の変更前の額と変更後の額が、事業別予算説明書における補正前の額と補正後の額と一致していないのは、どういったことなのか」
などがあり、4常任委員会に分割付託して審査した。

本会議では、「財政非常事態宣言の下で削減された福祉制度等を復活させるべきだ」とこれまで繰り

返し求めてきたが、市民に還元できる財源があるにもかかわらず、財政調整基金への積立てを優先したことは不満である」「財政が厳しいということで財政調整基金に積立てしたが、財政が危ないと言っているのはシテippoモーション上、非常に好ましくなく、もっと住民サービスを上げていかなければ、住民増や税収増は難しいと思う」

「補正増18億円のうち16億7千万円を貯金するという予算だが、減らした福祉予算を戻さなくていいのか」などの反対討論、「マレットゴルフ場東コースへのトイレ設置要望については、令和2年から一般質問で7回行ってきたが、トイレ整備の予算が計上されたことに対して感慨深いものがある」

「デジタル基盤改革支援補助金や新しい地方経済生活環境創生交付金等の国の補助金を活用して、公共施設予約システム更新など行政サービスの効率化、利便性向上を進める施策の推進、消防ポンプ自動車の整備や市民総合体育館施設内マレットゴルフ場付近への屋外トイレの整備を国の補助金や緊急防災・減災事業債を活用して進めることは、防災・減災や市民生活の安心に資する事業であり、時宜を得たものとする」



校舎長寿命化改修工事の最終年度を迎えた第二中学校

同じサービスを提供できるよう貯金をするという考えに賛成する」などの賛成討論の後、賛成多数で可決した。

不足する後期高齢者医療事業の保険料還付金に必要な予算を措置

令和7年度新座市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）を可決

既定の歳入歳出予算に、100万円を追加し、総額を26億2千810万5千円とするものである。

本補正予算は、後期高齢者医療事業の保険料還付金が不足する見込みとなったことに伴い、必要な予算を措置するものである。
本会議では、全会一致で可決した。

条例及び規則の公布の方法を市役所前掲示場から市ホームページに設置した掲示場に掲示する方法へ変更

新座市公告式条例の一部を改正する条例を可決

条例及び規則の公布の方法について、市役所前掲示場に掲示する方法を市のホームページに設置した掲示場に掲示する方法に改めるものである。

総務常任委員会に付託して審査し、本会議では、全会一致で可決した。

重度心身障がい者医療費の支給の対象者に精神障がい者保健福祉手帳2級所持者を追加

新座市重度心身障がい者医療費支給に関する条例の一部を改正する条例を可決

埼玉県において、重度心身障がい者医療費の支給の対象者として精神障がい者保健福祉手帳2級所持者に加え、その助成対象医療費は自立支援医療の精神通院医療の自己負担分とすることとされたことを受け、埼玉県の方針と同様に条例を改正するものである。
厚生常任委員会に付託して審査し、本会議では、全会一致で可決した。

災害その他非常の場合における給水装置工事及び排水設備等工事を行うことができる事業者等の特例を定める

新座市水道事業給水条例及び新座市下水道条例の一部を改正する条例を可決

災害その他非常の場合における給水装置工事及び排水設備等工事を行うことができる事業者等の特例を定めるものである。
建設常任委員会に付託して審査し、本会議では、全会一致で可決した。

新座駅北口土地区画整理事業の施行に伴い、野火止五丁目地内及び大和田二丁目地内の一部において町の区域を変更

町の区域を変更することに付いて可決

新座駅北口土地区画整理事業の施行に伴い、野火止五丁目地内及び大和田二丁目地内の一部において、町の区域を変更するものである。
本会議では、全会一致で可決した。

磁気ループ受信機（ヒアリングループ）を貸し出しています

本会議を傍聴する際、声が聴き取りづらい方のために磁気ループ受信機（ヒアリングループ）の貸出しを行っています。
必要な方は、傍聴受付の際にお申し出ください。



インターネット中継

本会議の開催日は、会議の様態をライブ配信（生中継）しています。録画の配信も行っていますので、質疑・討論・一般質問の詳しい内容はこちらを御覧ください。
9月定例会では、延べ1千671人の方がライブ配信を視聴されました。



新座市議会中継

検索

スマートフォン・タブレットでも！



市政に問う！ 一般質問

ダイジェスト

新座市のこんなことを聞きました



自民・維新の会
嶋野 加代

Q 安心して暮らせる災害に強いまちとしてPRすべきでは様々な機会や媒体を通じて積極的にPRしていく

A 本市は堅牢な地盤で地震に強く、内陸部に位置するため、台風等の被害も比較的少ない。安心して暮らせる災害に強いまちとしてPRすべきと考えるが、市の見解を伺う。

A 本市は地盤が強く災害に強いまちであることを認識している。今後も移住、定住関連イベントを始め、様々な機会や媒体を通じて安心して暮らせる災害に強いまちであることを積極的にPRしていく。

Q PTAの現状と課題や学校行事の対策は
成り手不足等の課題があり各学校では変革を進めている

A PTAの在り方が変わり、廃止した学校があると聞いている。PTAの現状と課題、学校行事の対策について伺う。

A 本市ではPTAを廃止した学校はないが、共働き家庭の増加により、人数が集まらない、役員の成り手がいないという現状に直面し、多くのPTAが時代の流れに合わせ変革を進めている。今後もPTAのほか、コミュニティスクールや学校応援団等、学校を支援する体制を幅広く進めていく。

Q 史跡公園の再整備の予定は
今年度は道路や園路沿いの高木・老木の伐採を実施する



■再整備が予定されている史跡公園

Q 史跡公園は本年度から5、6年かけて再整備していくとのことであるが、今後の再整備の予定について伺う。

A 令和8年1月から3月に水道道路と西屋敷通りの交差点付近から道路・園路沿いのナラ枯れの症状のある木や高老木化した木の伐採を実施する。来年度以降は未整備の区域を順次整備していく。

Q 教員による性犯罪、性暴力などの被害を防ぐ環境の整備を
子どもたちを性被害から守り安心して学べる取組を進める

A 教員による性犯罪、性暴力などの被害を防ぐ環境の整備を子どもたちを性被害から守る環境の整備について伺う。

A 子どもたちの安全と安心を保障することは教育機関の最優先事項である。性被害から守る環境を整備するため、「施設整備の点検の徹底」「必要以上の教師と児童・生徒との個別の接触の禁止」「教職員の研修」等を進め日頃から安心して学ぶことができるよう取り組んでいきたい。

Q 盗撮や性犯罪などの報道で不安を訴える保護者への対応を
学校が信頼される安全な学び場となるよう各取組を進める



Q 度重なる盗撮や性犯罪などの報道に対して保護者の不安を軽減できる対応策について伺う。

A 学校が信頼される安全な学びの場となることが重要である。緊急メッセージの発信、相談体制の充実、定期的な実態把握の実施を具体的な対応策として、十分な配慮を進めながら学校を指導していく。



自民・維新の会
助川 昇

Q 直ちに対応することは難しいが引き続き検討していきたい

A 集会所にWi-Fiの設置を直ちに検討することは難しいが引き続き検討していきたい

A 集会所にWi-Fiが設置されれば利便性向上などメリットが多いと考えているが、設置には初期費用に加えて継続的に費用が必要となり、市の財政状況を鑑みると直ちに対応することは難しい。費用面や利用者の状況を踏まえ、引き続き検討していきたい。



公明党
野中 弥生

Q コンタクトレンズケースを回収・再生する取組を
社会貢献の側面もあり早速拠点回収の取組を検討していく

A サークルエコノミー（循環経済）の実現に向け、コンタクトレンズメーカーと協力して空きケースを拠点回収し売却することにより、得られた対価を日本アイバング協会へ寄附し視力を取り戻したい方々のために役立てる取組について、市の見解を伺う。

A 使い捨てケースの拠点回収の取組について、社会貢献としての側面もあることから、早速先進市に聞き取りを行い、検討していきたい。

Q 都市計画道路東久留米志木線の整備の進捗状況は
本年度末の事業認可の取得を目指して事業を進めている

A 東久留米志木線における産業道路と水道道路交差点間の整備の進捗状況について伺う。

A 当該工区については、現在までに路線測量及び予備設計を実施しており、本年度は用地測量を実施し、年度末の事業認可の取得を目指している。令和8年度以降は関係権利者の理解を頂きながら、建物の補償に係る物件調査及び道路用地の取得を進め、おおよそ令和14年度以降から道路の築造工事を実施する計画である。

Q 街路樹の適切な剪定を
適切な維持管理に努めていく



■通行の妨げになっている街路樹の枝葉

Q ①新座中央通り及び②志木街道の街路樹の枝葉が通行の妨げになっている。適切に街路樹を管理すべきと考えるがどうか。

A ①剪定の時期は落葉後が望ましいが、今年度は安全確保を最優先に落葉前に実施する。②道路を所管する県に要望したところ、11月頃までには剪定を実施する予定とのことである。

Q 防災行政無線の周波数を280メガヘルツ帯に変更しては
デジタル化を完了したところであり変更は考えていない

A 鴻巣市では、防災行政無線の制御盤内部のユニットのみの交換で整備費用を抑えて280メガヘルツ同報無線システムへ移行するとともに、個別受信機5千台を従来の3分の1の費用で導入し、有償配布を行っている。この取組について、市の見解を伺う。

A 本市で使用している60メガヘルツ帯の防災行政無線でも電波障害を受けることなく放送できているため、現時点では280メガヘルツ帯への変更は考えていない。引き続きフリーダイヤルによる聞き直しサービスやSNSへの掲載に取り組みつつ、防災ラジオの代替手段について今後も研究を続けていきたい。



■米緑道庭球場



市政に問う！

一般質問

ダイジェスト



公明党
鈴木 秀一

新座市地域公共交通計画の策定期は
今年度末の策定を予定している

Q 本市では公共交通の在り方について、新座市地域公共交通会議にて協議しているが、新座市地域公共交通計画の策定期について伺う。

A 計画については、今年度末の策定に向けて取組を進めている。素案を示せる段階で、パブリックコメント等で広く意見を伺う予定である。計画の公表については、来年4月にはホームページに掲載したい。

ブックスタート事業の再開を
集団健診会場での再開は難しいが他の方法を研究していく

Q ブックスタート事業を再開してほしいとの声がある。保健センターでの再開を始め、各図書館で同事業を行ってはどうか、市の見解を伺う。

A ブックスタート事業は3、4か月間健診の集団健診会場で実施していたが、令和2年度から個別健診となり中止となった。現在、集団健診への医師の派遣が難しいため、同事業を再開することは難しい。図書館での実施については、他の自治体を研究していく。

特殊詐欺防止策の強化を
警察と連携し特殊詐欺被害の未然防止に全力で努めていく

Q 特殊詐欺の被害が収まらない。市民が被害に遭わないよう、防止策を強化すべきと考えるが、市の見解を伺う。

A 特殊詐欺の防止策強化として、チラシの配布や防災行政無線での注意喚起、簡易電話録音装置の配布を行っている。今後対策講座を予定しており、警察と連携して被害の未然防止に努めていく。



生活保護受給者の年金申請支援事業の実績評価と今後は
効果の高い事業であるため効果を検証して継続していく

Q 市は令和3年度から社会保険労務士に委託して、本事業を始めたが、生活保護費の削減に大きく寄与している。現在の実績に対する評価と今後について伺う。

A 本事業は60歳以上及び障がい者手帳を所有する生活保護受給者を対象に代行申請を行うもので、新たな年金受給により、生活保護の廃止や減額につながっている。生活保護受給者の自立、生活保護の適正受給に効果の高い事業であるため今後も継続していく。

手話言語条例の必要性や内容の調査・研究の進捗状況は
当事者団体との懇談を継続しながら制定に向けて検討する



Q 令和6年第3回定例会で手話言語条例の制定について質問したが、現在の進捗状況を伺う。

A 同条例の制定は手話が言語であることに対する理解促進、普及啓発の手法として有効で、手話が必要又は使用者の意思が尊重される点でも重要である。引き続き市聴覚障害者協会との懇談を継続し、制定に向けて検討を行う。



自民・維新の会
鈴木 明子

ふるさと新座館1階ロビーの段差の修繕は
早急に対応して段差解消を図りたい

Q ふるさと新座館1階ロビーの事務室前周辺の床が広範囲にわたりわずかに沈下しており、段差が生じている。原因の究明と今後の修繕について伺う。

A 当該箇所については、音や振動が地下のホールに伝わらないように特殊な工法でタイルが敷かれており、この部分が経年劣化により圧縮され段差が生じている。現在、長期の休館とならない工事の方法等を検討しており、早急に対応し、段差解消を図りたい。



未来を創る会
伊藤信太郎

放射7号線の開通で交通量が
増える水道道路の安全確保を

Q 放射7号線の開通で交通量が増える水道道路の安全確保を、放り7号線が開通すれば交通量が増えるの見込み、より一層の安全確保が必要だと考えるが、市の見解を伺う。

A 水道道路は、緊急輸送道路として大型車両が頻繁に通行しても耐え得る舗装構造であり安全性の確保はできているが、道路の舗装損傷の進行速度や状態については今後も注視していきたい。

大和田水辺の丘公園じゃぶじゃぶ池稼働停止等への対策は
課題を検証して来年度以降の運営方法の見直しを検討する

Q 7月にオープンした同公園のじゃぶじゃぶ池が、混雑により土・日曜及びお盆期間中の午後1時以降の稼働を停止した。また、駐車場不足で路上駐車も発生している。来年度に向けた対策を伺う。

A 今年度は公園全体の供用開始後初めての運営となり、予測できない点が多かった。課題を検証し、来年度以降の運営方法の見直しについて検討していく。また、駐車場については、有料化も含めて対策を検討していきたい。

突然の心肺停止から命を救えるようAEDの屋外設置を
公共施設の建替え等の機会を捉えて設置を進めていきたい

Q 市では主な公共施設93か所にAEDを設置しているが、終日利用可能な屋外に設置されている箇所が少ない。24時間利用可能な屋外設置を進めてはどうか。

A 収納ボックスを設置する壁面の強度や自立式スタンドを設置する場所の確保等の条件を踏まえ、公共施設の建替え等の機会を捉えて屋外設置を進めていきたい。



■屋外への設置が望まれるAED（自動体外式除細動器）

ふるさと納税返礼品の充実を
返礼品登録手続のサポート体制について伝えていきたい

Q ふるさと納税の返礼品の充実策について、市の見解を伺う。

A 市内企業を訪問し、ふるさと納税の返礼品登録に向けた意欲喚起を図っているが、登録申請手続を複雑に感じている事業者がいるので、手続支援やサポート体制があることを伝えていきたい。

Q 新庁舎の完成以来、市役所内のレストランがなくなり、市役所の中で食事ができ、交流を深めることができる場所の提供が期待されている。調理室を設けなくて



A も、食事やミーティング等、多目的に利用できる場所の確保や運営ができないか、市の見解を伺う。

A レストラン等を設ける低層棟で、敷地内にレストラン等の建物を建設する考えはなく、また、庁舎内は執務スペースが不足しているため、交流スペースの確保や運営について検討することは難しい。



市政に問う！ 一般質問

ダイジェスト

Q 堀の内橋の道路照明灯は歩道の片側だけへの設置のため反対側は暗く、歩行者から安全対策の要望がある。道路照明灯の設置等安全対策について伺う。

A 橋の南側には道路照明灯がなくて、橋の構造上、橋梁への道路照明灯の設置は難しいが、周辺の安全対策として橋付近への照明灯の設置を検討する。また、歩車道境界のブロックの視認性に問題があるとの指摘もあり、視認性の高い道路びよりの増設も検討する。

Q 堀の内橋の歩道に道路照明灯の設置等を安全対策として橋付近に道路照明灯の設置等を検討する



公明党

伊藤智砂子

Q 認知行動療法に基づく不安の予防教育プログラムの活用を教職員のカウンセリングスキル習得に向けた取組を進める

A 小・中学校の児童・生徒が抱える悩みやストレスに寄り添う教職員による支援として、認知行動療法に基づく不安の予防教育プログラムを活用してはどうか。

Q 認知行動療法は、鬱病、不安症等の精神疾患に効果が実証された治療法である。カウンセリングには様々な手法があり、そのスキルの習得に向けて、教職員に対して研修会を開催し、しっかりと定着させる取組を教育委員会としても進めたい。

Q 市民が再生可能エネルギーの利用と脱炭素への関心を持つことは重要である。今後太陽光発電設備を設置する公共施設へ発電量や消費電力を表示するモニターを設置してはどうか。

A 発電モニターは17施設に設置しているが、新たな設置は相応の費用を要するため、啓発効果や採算性を踏まえて都度判断する。



■保健センター・れきしてらすのロビーに設置されている発電モニター

Q 福祉の里に設置してある案内看板の交換や修繕を栄公民館の工事完了に合わせ修繕等の対応を行う

A 福祉の里に設置してある案内看板は、文字が消えているため、交換や修繕を行えないか伺う。

■文字が消えている福祉の里の案内看板



Q ヘルプマークの周知・啓発を市ホームページや広報などで周知・啓発を図っていく

A ヘルプマークは配慮を必要としていることを周りに知らせ、援助を得やすくなるよう作成されたものであるが、更なる周知・啓発をすべきではないか。また、県で作成しているヘルプマークが本市で不足していると聞いているが、状況はどのようになっているか。

Q 将来の胃がん発症リスクを低減するために、①ピロリ菌と胃がんの関連性や検査の重要性についての啓発を強化すべきではないか。また、②胃がんリスク検診への助成を実施してはどうか。

A ①ピロリ菌の除菌治療は胃がん予防に有効なため、除菌治療による胃がん予防についてホームページに掲載した。②胃がんリスク検診等の国の指針外の検査方法については、現時点で追加や新たな助成を行う考えはない。

Q 小・中学校にも積極的に専門機関による出前講座の導入を企業等と提携し金融を学べる講座を開く準備ができている

A 専門機関による出前講座を学校にも積極的に導入し、ネット詐欺や契約トラブルについて分かりやすく実践的な教育を推進すべきと考えるが、市の見解を伺う。また、J・F・L・E・Cが消費者庁と連携し教育機関に専門家を無料派遣しているが、活用について伺う。

Q 小・中学校においても、企業や団体との提携により、金融について学べる講座を開く準備ができている。J・F・L・E・Cの活用についても検討していきたい。

Q 日常のトラブルでも相談できるADRの周知・啓発を重要と考えホームページに掲載した

A 近隣の騒音、境界線、生活習慣の違い等、日常の小さなトラブルでも相談できる仕組みとして、平時におけるADR（裁判外紛争解決手続）を周知・啓発し、市民にとって身近な仕組みとすべきと考えるが、市の見解を伺う。

Q ADRについて周知・啓発を図っていくことは重要だと考えており、地域活動推進課の窓口でパンフレットを配布しているほか、市のホームページに掲載した。

Q 授乳室内に非常用呼出しボタンを設置してはどうか。

A 議員からの指摘を受け、まずは庁内に在庫があった防犯ブザーを市役所本庁舎1階及び2階の授乳室内に設置する対応を図った。また、他の公共施設でも同様の対応が図れるかどうか検討していきたい。

Q 公園へ壁打ち用の壁の設置を現状ではボール投げ等ができる公園の拡大に努めている

A 1人でもテニスや野球等の基礎練習を楽しめるよう、壁打ち用の壁を公園に設置できないか。本市では、住宅に近接しているなどの理由からボール遊びができる公園は4か所に限られており、壁の設置については、周辺住民の理解とともに多大な費用を要するため、現状では、ボール投げ等ができる公園の拡大に努めているところである。

Q 市役所本庁舎1・2階の授乳室内に防犯ブザーを設置した

A 安心して授乳室内を利用できるように緊急ボタンを設置するよう市役所本庁舎1・2階の授乳室内に防犯ブザーを設置した

Q 授乳室内に非常用呼出しボタンを設置してはどうか。



市政に問う！

一般質問

ダイジェスト



日本共産党

小野由美子

第三中学校のテニスコートの改善を

11月下旬から2週間程度で行う予定である

第三中学校のテニスコートが荒れていて、練習がしにくいとの声が数年前から上がっている。学校側からも改善要望しているとのことだが改善できないか。

第三中学校のテニスコートの整地については保護者からも要望があり、専門業者と現場確認を行い、補修が必要であると認識している。学校と調整し、11月下旬から2週間程度で行うこととなったので、今しばらくお待ちいただきたい。



日本共産党

小野 大輔

大和田水辺の丘公園じゃぶじゃぶ池を稼働停止した理由は安全確保のため利用者が集中する時間帯を稼働停止した

大和田水辺の丘公園じゃぶじゃぶ池では、午後の稼働を停止した日があった。停止した理由と改善策について市の考えを伺う。

開設当初から多くの方が来場して密集状態となり、安全確保が困難となった。道路停留や路上駐車、近隣商業施設からのフレーム、その後は水質維持が間に合わない状況となり、やむを得ず稼働停止という対応を取った。来年度に向けては、課題を検証して運営方法の見直し等も考えたい。

来年度の平和展も充実した内容で開催を

課題はあるが可能な限り充実した内容になるよう努める

令和7年度に行われた平和展は、戦後80年及び市制55周年という節目の年となることから、例年より充実した内容であった。令和8年度もこのような充実した内容で計画してもらえないか。

今年度は例年より充実した内容で開催し、多くの方から高評価を頂いた。こうした成果を踏まえ、来年度の平和展では、展示物の確保や会場の利用調整などの課題はあるが、可能な限り充実した内容になるよう努めていく。

血圧計の定期的な点検と衛生管理を

保健センターにて管理を行い今後も注意深く見守っていく

地域の安全安心を強固にするためトイレカーを整備しては費用対効果の観点からトイレカーの導入は考えていない

トイレカーは、災害時だけではなく市の防災訓練、地域イベントや避難所開設訓練等、平時から有効活用が可能である。民間事業者や周辺自治体と連携した導入や活用について市の考えを伺う。

災害発生時にはマンホールトイレや薬剤トイレの使用を想定している。トイレカーについては、初期費用以外に運用、維持管理費用が生じるため導入は考えていない。引き続き、他自治体の導入状況を見ながら考えていきたい。

投票所の利便性向上に向けた投票区の見直しを

投票所までの距離や人口動態等を調査・研究して検討する

市役所本庁舎1階にある血圧計の腕を入れる部分の汚れが気になるとの声がある。定期的な点検と衛生管理について伺う。

当該血圧計は保健センターで管理しているが、確認したところ、腕を入れる部分が汚れており、衛生的でないと判断したため、カバー部分の交換を行った。今後とも注意深く見守っていきたい。



カバーの交換を行った血圧計

大和田公民館が投票所となる地域は地形に高低差があり、徒歩移動が困難な方には投票の障壁になっている。投票区の見直しを含めた改善が必要ではないか。

投票場所等の変更は選挙人の混乱を招くので慎重な検討が必要だが、投票所までの距離や人口動態等を調査・研究し、今後選挙管理委員会等に諮り検討する。



投票所（大和田公民館）付近の地形の様子



公明党

佐藤 重忠

一人暮らしの高齢者等の見守り施策の拡充を

今後の見守りサービスの在り方を調査・研究していきたい

一人暮らしの高齢者等が増加し、地域との関係が薄まる中で「孤独死」や「孤立死」が社会問題となっている。離れて生活する家族が電気製品の使用状況で生活状況や安否を確認できるサービスの補助を実施してはどうか。

提案いただいたサービスも含め、必要な方に効果的なサービスを提供できるよう現行のサービスとの比較を行いながら、今後の見守りサービスの在り方について調査・研究を進めていきたい。



未来を創る会

山口 歩

生成AIの取扱いを定めたガイドラインの策定と運用は利用可能な範囲等を定めたガイドラインを策定している

生成AIは、誤情報の出力や個人情報漏えいというリスクもあり、その取扱いには明確なルールと判断基準が必要である。本市におけるガイドラインの策定や運用について、市の見解を伺う。

業務で利用可能な生成AIの種類と範囲、個人情報の取扱い、著作権への配慮等を規定したガイドラインを策定しており、支障のない範囲で配慮した形で公表できるか検討したい。また、AIの進化に合わせ適宜見直しを行う。

廃止した産業道路の横断歩道の復活を

警察に確認したところ再設置は難しいとの見解であった

産業道路の野火止三丁目付近の横断歩道の復活について以前一般質問したが、現在まで復活されていない。市として、改めて県に要望すべきと考えるがどうか。

改めて警察に確認したが、当該横断歩道は付近の交差点にある信号機から約70mしか離れておらず、再設置は難しいとの見解であった。市として、機会を捉え引き続き警察と協議していきたい。

ハクビシン被害対策事業を実施しては

現時点での実施は難しいが今後調査・研究していきたい

市民からハクビシンによる被害を受けたとの話を聞いた。

オンラインカジノの危険性について市民に周知・啓発をホームページ掲載と公共施設へのポスター掲示を行った

オンラインカジノはスマホから容易にアクセス可能であり、若年層も違法性を理解しないまま手を出せることから、深刻なギャンブル依存症につながるおそれがある。危険性の周知・啓発と、学校における指導等について伺う。

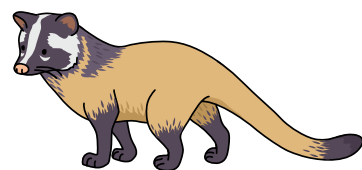
市民に注意喚起することは重要であると考え、ホームページへの掲載と公共施設へのポスター掲示を行った。学校では今後、県からの通知に基づき、オンラインカジノについても指導していく。

県補助制度を活用し宅配ボックス設置助成制度の創設を

県補助制度のほか国からの交付金活用を含め検討していく

ハクビシンは許可なく捕獲すると法律で罰せられるため、専門業者へ有償で捕獲を依頼する必要がある。市で捕獲を依頼し、費用を負担する事業を実施できないか。

提案の事業については、鳥獣保護法の観点から現時点での実施は難しいと考えているが、事業を実施している自治体について今後、調査・研究していきたい。



県では集合住宅向け宅配ボックス設置への補助制度が開始された。本市においてもこの県補助制度を活用し、宅配ボックス設置助成制度を創設できないか伺う。

現在の市の財政状況を鑑みると直ちに補助制度を創設することは難しいが、令和8年度に地方創生臨時交付金が本市に来場合には実施したい。



市政に問う！

一般質問

ダイジェスト

A 既存の計画とは別に新たに公共施設用地等を活用した貯留施設の設置を検討する新座市効率的雨水対策検討会議を設置し、全庁を挙げて取り組み、効率的な浸水対策を検討していく。

Q 昨年7月31日の豪雨では、市内で大きな被害が発生したが、被害防止の対策は十分には実施されていない。下水道事業雨水整備10か年計画を前倒して実施することを含め、対策を急ぐことが大切だが、市の考えを伺う。

集中豪雨による被害防止のために雨水・溢水対策の強化を効率的雨水対策検討会議で全庁を挙げて取り組んでいく



日本共産党
笠原 進

A こども計画は、こどもみんなが社会の実現に向けて具体的な施策の方向性を定め、推進していく上で必要であり、計画の早期策定に向けて準備を進めていく。

Q 第3次新座市子ども・子育て支援事業計画では、子どもの参画や意見表明、不登校や孤立、ヤングケアラー、貧困の連鎖防止等が十分に扱われていないと感じる。県の計画も整ったことから、こども計画も策定する必要があると考えるが、市の見解を伺う。

計画の早期策定に向けて準備を進めていく

こども計画の策定を



未来を創る会
田口 訓子

公園にインクルーシブ遊具の導入を
既存の遊具を更新する際に導入を検討していく

A 猛暑となる夏休みの期間中は室内で過ごせるスペースが必要と認識している。児童センターやココフレンド等の更なる充実を図るとともに、NPO法人等と連携し、多様な学びや幅広い交流ができる居場所づくりを進めていく。

Q 夏休み期間中に子どもが安心して継続的に利用できるよう、公共施設の更なる開放とともに、民間や地域団体等との連携による多様な居場所づくりが必要と考えるが、市の見解を伺う。

夏休み期間中の子どもたちの居場所に公共施設の更なる開放を施設の充実と幅広い交流ができる居場所づくりを進める



A ゆる人が安全に利用できる公園になると考えている。今後既存の遊具を更新する際には、子どもたちのニーズや予算の状況を踏まえ、選定していきたい。

Q 障がいの有無にかかわらず、誰もが遊べるよう配慮されたインクルーシブ遊具を公園に導入してはどうか。市の見解を伺う。

高齢者の憩いの場所への財政支援の強化を
社会福祉協議会と協力しコブシ福祉基金の活用も検討する

A 他路線や練馬区内の延伸に係る総事業費は物価高騰により1・4倍から1・7倍となっており、単純に乗じると約2千億から2千400億円となる予測である。次期答申に向けては、改めて総事業費や予測乗降者数を調査したい。

Q 平成31年3月発行の「都市高速鉄道12号線延伸に向けた基礎調査報告書」に概算建設費は約1千200億円とあるが、その後の物価高騰を踏まえた建設費と市の負担について市の考えを伺う。

物価高騰を踏まえた都市高速鉄道12号線の建設費の考えは詳細な延伸ルート等が定まった段階で算出すべきと考える



Q 「カフェ黒目川」等の高齢者の憩いの場は好評だが、運営や改修の費用は個人の善意に頼っている。市は基金創設等により財政支援を強化すべきではないか。

A 社会福祉協議会が支援しているが、こうした居場所は増えている。市としても何らかの支援が必要だと思うので、コブシ福祉基金の活用も検討する。

A 同計画策定の際には、先進市の事例を参考にしながら、ボール遊びを含め子どもたちや地域の声を極力反映させていきたい。

Q 松山市では、ボール遊びのマナーなど利用者のモラルを高めることで安全安心な社会づくりに貢献することを目的とし、ボール遊びのできる公園づくりに取り組んでいる。本市でも公園リニューアル計画の策定に向けてボール遊びのできる公園づくりを進めるべきと考えるが、市の見解を伺う。

先進事例を参考にボール遊びのできる公園づくりの取組を計画策定の際には子どもたちや地域の声を反映させていく



日本共産党
黒田 実樹

A 対象者をどうするかなどの様々な課題があり今すぐの導入は難しいが、移動支援策は必要と認識しているので、既に導入している先進市の制度設計や課題について調査・研究していく。

Q 1人で投票に行くことができない高齢者等の投票所までの移動支援のため、国及び県政選挙でタクシース券の配布等を行う自治体に対して国・県は全額補助を行っている。補助を活用し、タクシース券の配布を行う考えはないか。

高齢者や障がいの者の投票機会の支援を
先進市の制度設計や課題について調査・研究していく



日本共産党
石島 陽子

平置きの新設はできないが故障中のラック修理は対応する

A 全国市長会における国の施策及び予算に関する提言として補聴器購入補助制度の創設が挙げられているので動向を注視していくとともに、他市での実施状況や効果を踏まえ、必要性について調査・研究していきたい。

Q 補聴器は大変高額で、難聴でも補聴器を使用していない高齢者が多い。国は認知症対策を喫緊の課題としており、全国で補聴器購入費補助制度の導入が広がる中、本市でも実施してはどうか。

難聴対策として本市でも補聴器購入費補助制度の実施を他市での実施状況や効果を踏まえ必要性を調査・研究する

経営が厳しい訪問介護事業所へ更なる支援を
市の財政状況を考えると厳しい

A 遠隔地での開催、引率者の確保、参加者の選出、また予算等の課題もあるため、式典に生徒等を派遣する予定はない。

Q 平和記念式典に生徒等を派遣する自治体が増えている。広島市は、式典への参列と平和学習プログラムへの参加等を条件に、中学生等を派遣する自治体に対して、宿泊費や交通費等を補助している。本市も派遣してはどうか。

広島・長崎平和記念式典に中学生を派遣しては様々な課題があるため派遣する予定はない



■新座市野火止四丁目自転車駐車場

Q 野火止四丁目自転車駐車場の一時利用について、壊れたラックを修繕するとともに、平置きスペースを設けられないか伺う。

A 電動式ラックと連動した精算機で管理しているため、平置きスペースの新設はできないが、故障中のラックの修理は速やかに行う。満車の場合は新座駅南口地下自転車駐車場を利用してほしい。



げられた。①経営が厳しい事業所に対して、市は国の臨時交付金を活用して1事業所当たり10万円の支援金を支給しているが、更に支援が必要ではないか。また、②実態をどのように把握しているか。

A ①市の財政状況を考えると厳しい。②介護保険事業計画等の策定時に事業所へのアンケート調査を実施している。



市政に問う！

一般質問

ダイジェスト



未来を創る会
鈴木 芳宗

Q 確実な事業実施に向けた基金の設置を
厳しい財政状況のため基金の新設は難しい

A 厳しい財政運営の中ではあるが、①今後の健全な財政運営について②確実な事業実施を行う上で公共施設等の再整備に向けた基金の設置について、見解を伺う。

A ①歳入増及び歳出削減の取組を進める。②財政調整基金が毎年減少している状況のため、現時点での創設は難しいが、通年で35億円確保できる状況になった際には検討したい。当面は、国庫補助金や財政措置に有利な起債を活用し、財源の確保に努めていく。



市民と語る会
高邑 朋矢

Q 黒目川へのごみ不法投棄等の問題解決に向けた市の考えは
安全で快適に利用できるように適切な環境整備を進めていく

A 栗原一丁目公園前の黒目川は利用者が多く、ごみの不法投棄、駐輪場所、川遊び中の安全の問題がある。解決策として、この場所を自然公園と考え、トイレやごみ箱の設置、自転車置場の確保、人員配置を行ってはどうか。

A 栗原橋にポイ捨て禁止の看板を、遊歩道には管理者である県が駐輪禁止の看板を設置した。川遊び等は制限されるものではなく、自身の責任においてマナーを守り安全に利用していただきたい。

Q 商店街の活性化のための支援の拡充及び維持を
様々な支援を行い費用負担の軽減を図っていく

A 市では商店街の活性化のため、様々な支援を行っているが、今後の支援の拡充や維持について、市の見解を伺う。

A 市では、各商店街への支援として、商店街で実施するイベントや売り出しチラシの印刷等の販売促進に対しての補助事業を多く活用していただいている。また、街路灯を含めた商店街共同施設の維持管理の補助事業は引き続き行い、費用負担の軽減を図ることで支援を行っていく。

特定健診の案内等を行い定期的に受診するよう周知する



Q 消防団の団員確保、また健康管理を進めるため、定期的な健康診断を実施してはどうか。

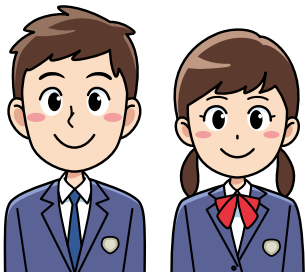
A 団員は常勤でないため、健康診断については、国民皆保険の中で、自らの健康意識の中で受診することが重要と考えている。市としては、特定健診の案内等を行い、定期的に健康診断を受診していただくよう周知していく。

**夏休み中の勉強場所として学校の教室を開放しては
長期休業期間中の職員配置を考慮すると開放は難しい**

A 今夏も猛暑で子どもたちは勉強する場所に苦労した。夏休み中も安心して勉強できる場として、エアコンやWi-Fi環境を整う学校の教室を開放できないか。

A 夏休みに学校施設を自習室として開放するには、職員の配置が必要不可欠だが、長期休業期間中の職員配置は難しい。市内では今、地域の方々による「宿題応援隊」のような試みがされており、今後も学校と地域の連携を支援していきたい。

**市内中学校のブラック校則の把握と市の考えは
人権を侵害する不合理な校則はないと認識している**



Q 市内中学校には、子どもたちの人権を無視した「ブラック校則」が未だにあるようだが、市は把握しているか。

A 校則は各学校で定めるが、現在市立小・中学校では、理不尽・不合理な校則はないと認識している。今後も児童・生徒に寄り添い多様性に配慮した学校運営が行われるように学校を指導する。



公明党
白井 忠雄

Q 豪雨被害のあった地域の本格的な浸水対策の早期実施を
本格的な対策について来年度の予算編成で示したい

A 豪雨被害のあった地域の本格的な浸水対策や対応策の進捗状況はどうか。雨水貯留施設等の建設まで応急的な取組を更に進めていくべきではないか。

A 効果的な浸水対策を着実に進めていく。具体的には来年度の予算編成で示したい。また、大雨時は全庁を挙げた体制で対応しており、応急的な対策として、降雨時に雨水管に流れる雨量を比較し、余裕のある暗渠へ雨水を取り込む工事を準備している。



未来を創る会
川村よしひさ

Q 将来の投票行動へつながるよう話し合う授業時間の確保を
政治に関心をもち投票行動につながるよう教育を進めたい

A 公民教科書を題材に生徒同士で異なる意見を聞いて話し合うことは、政治について関心を持つきっかけとなり、将来の投票行動へつながると考える。話し合う授業時間の確保について伺う。

A 公民の授業では、日本の選挙制度について学ぶと同時にメディアリテラシーについても学び、グループワークを通じてお互いの考えを共有する時間を取っている。政治に関心をもち今後の投票行動につながるよう教育を進めていく。

Q 豪雨時にマンホールの蓋が吹き飛ばないよう対策を
ストックマネジメント計画の中で計画的に蓋の交換を行う

A マンホールの蓋が吹き飛んで雨水が噴き出すエアーストック現象が本市で発生した。人に当たれば大怪我になりかねない。蓋の老朽化対策など、安全な維持管理を行っていくべきではないか。

A 蓋の維持管理については交換が効果的であり、今年度策定予定の「公共下水道ストックマネジメント計画」の中で雨水管の蓋約一万枚を計画的に交換していく。

Q 学校等へミストシャワーを設置して暑さ対策を
未設置の学校には順次設置していきたい

A 子どもたちが酷暑をしのぐために、学校、公民館、児童センター、市役所、公園等にミストシャワーを設置し、身近で涼める場所を作るべきではないか。



A 現在、小学校16校、中学校2校に設置して活用されている。未設置の5校については、順次設置していきたい。その他の公共施設については、ミストシャワーは一定の効果はあるものの厳しい財政状況から設置は難しい。

Q 選挙における無効票について、根拠のない不正選挙の話を防ぐとともに、選挙管理への信頼に
つなげるため、白票や人名と判断できなかった票など無効投票数の内訳を情報公開してはどうか。

A 無効投票数についてはホームページで公表しているが、無効票の内訳についても今後ホームページ等において掲載できるように準備を進めていく。

Q 医師からの新型コロナワクチン副反応疑い報告の徹底を
心筋炎・心膜炎は副反応疑い報告を促すよう依頼があった

A 例において、医師からの副反応疑い報告が不十分であれば、制度の機能不全につながる問題となる。副反応疑い報告の徹底について、厚生労働省からの依頼内容を伺う。

A 副反応疑い報告制度について医療機関に周知するとともに、心筋炎・心膜炎に関する救済制度請求事案については、医療機関に報告を促すよう依頼があった。





市長から報告を
受けました

全員協議会から

◆9月25日

新座市公共施設再配置計画の
検討状況等について

7月28日及び8月20日に公共施設再配置計画審議会を開催した。

審議会では、計画策定の前提条件となる人口の見通しや、本計画との関係が深い新座市立地適正化計画の考え方、施設の改修・改築及び維持管理に係る経費の状況などについて認識の共有を図った。

また、既存の公共建築物について機能別に分類をし、施設の課題及び再配置方針（案）についての審議が行われた。

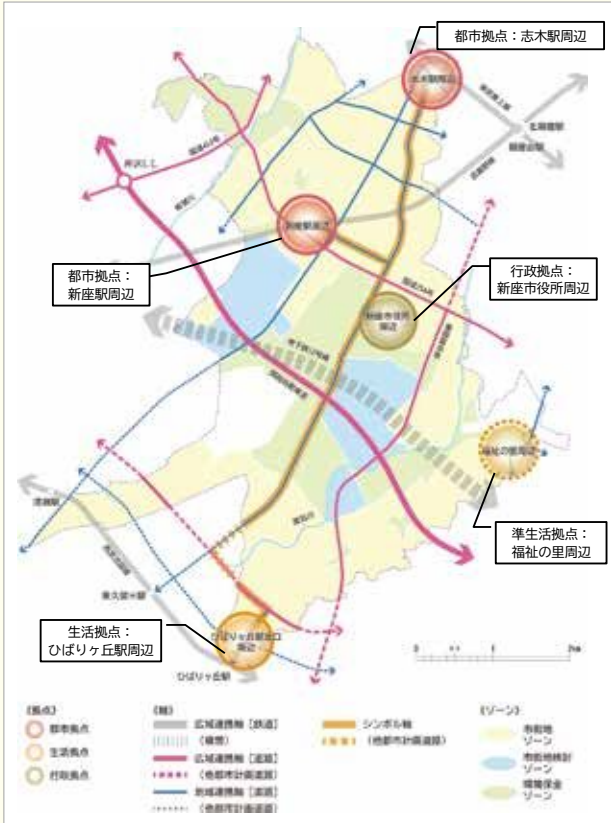
なお、学校施設については、教育委員会内に設置した「新座市立小・中学校適正配置等検討会議」において、児童・生徒数の減少を見据えた学校の適正規模や適正配置、将来的な教育の在り方などの基本的な考え方について検討を進めている段階であることから、今後審議を行う予定である。また、

学校と密接な関係にある放課後児童保育室についても同様である。

審議会で提起された意見を一部紹介すると、施設方針の分類に關し、「長寿命化という言葉は一般的でない上、建物の構造や建築年数によって複数の対応があるように読み取れるので分かりづらい」、「施設方針における『現状維持』と『維持管理』の違いが分かりづらい」といった資料に関する意見をいくつか頂いた。また、「一部地域に施設の集約や廃止が集中しているように感じられる」といった施設の偏りに関する意見もあった。

市では、施設の再配置方針や計画書に記述する内容について、審議会で提起された意見等を踏まえて、更なる検討を進めている。今後の予定であるが、間もなく、学校の適正規模や適正配置などについて検討した結果が教育委員会から報告される見込みである。学

■新座市立地適正化計画における将来都市構造図（案）



校と放課後児童保育室を除く施設の再配置方針は、既に審議を進めている状況だが、学校施設の検討内容によつては、8月までの庁内

検討委員会及び審議会で検討・審議したものから方針や対応時期を変更することも考えられるため、原則として全ての施設について再検討する予定である。

スケジュールとしては、10月に庁内検討委員会、11月中旬を目途に審議会を開催し、学校施設の検討内容及びそれを踏まえた他の施設の在り方について、検討・審議を行う予定である。

また、庁内検討委員会は令和8年1月に、審議会は2月頃に各1回の会議を開催し、計画の素案を取りまとめる予定である。

その後、令和8年4月頃に市民向けの説明会を開催し、関連計画である新座市公共施設等総合管理計画の考え方や、再配置計画策定の必要性、計画案の内容について市民に理解していただけるよう努めるとともに、パブリック・コメント手続により広く市民から意見を聴取する予定である。

最終計画案については、6月以降に庁内検討委員会や審議会で説明の上、答申を頂き、8月に計画決定・公表という流れを想定している。

新座駅北口土地区画整理事業に係る事業計画変更の素案等について

新座駅北口土地区画整理事業（以下「本事業」という。）に係る事業計画変更の素案等について説明する。まず本事業のこれまでの経緯については、平成20年度に事業計画決定を行い、令和3年度末までを事業施行期間として事業を進めてきたが、令和2年3月30

日に工事等に要する期間を令和9年度末までに6年延伸するとともに、換地処分後に清算事務業務を新たに5年設定し令和14年度末までの事業施行期間とした。

その後、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響等により、令和9年度末までの工事完了が困難となったことから、改めて事業施行期間について検討し、令和7年5月に「新座駅北口土地区画整理事業変更事業計画書等作成業務委託の契約を締結し、現在、事業計画の変更について検討を進めている。

次に、新座都市計画事業新座駅北口土地区画整理事業事業計画書（第3回変更）の素案（以下「素案」という。）については、業務委託において、事業施行期間及び事業費等について精査し作成したものであり、工事等に要する事業施行期間を12年間延伸し、令和21年度末（清算期間を含めて令和26年度末）までとし、総事業費は、約162億円を増額し約289億円と試算した。

事業計画変更に係るスケジュールについては、令和7年度中に国・県との調整を行い、事業計画変更案を決定し、令和8年度に縦覧等の手続を経て県知事の認可を受けたいと考えている。

また、素案がこれまでの計画と大きく異なることから、令和7年8月に新座駅北口土地区画整理審議会を開催するとともに、地権者を対象とする住民説明会を開催し、素案の内容について説明した。

説明会では、①早期に事業完了を望む意見、②総事業費の増額が地権者の負担になるのかという質問等を頂いたが、①これまでの進め方を大きく見直し、駅前広場及び都市計画道路の整備を最優先とした道路築造工事を予定している

こと、②総事業費の増額分は約500世帯の地権者のみの負担ではないことを説明した。また、総事業費の大幅な増額の要因は、昨今の物価高騰の影響のほか、事業施行期間の延伸による維持管理費、職人件費の増加等によるものであることを説明した。

今後、地権者に事業計画変更について更なる理解を頂くため、説明会の内容に加えて、頂いた質問及び回答等を取りまとめた資料を送付するとともに、説明会を欠席した方についても、個別に対応を行い、本事業を進めていく。

■新座市都市計画事業 新座駅北口土地区画整理事業 設計図（変更後）



令和7年9月定例会 議案の審議結果

(○賛成 ×反対)

区 分	議 案 番 号	件 名	議決の 結 果	未来を創る会						自民・維新の会					公明党						市民と 語る会		日本共産党						賛 成	反 対	
				鈴木 芳宗	島田久仁代	よねはしゆうた	伊藤信太郎	山口 歩	川村よしひさ	田口 訓子	池田 貞雄	鈴木 明子	助川 昇	嶋野 加代	堀内 博史	白井 忠雄	鈴木 秀一	野中 弥生	佐藤 重忠	谷地田庸子	伊藤智砂子	片山 敏子	高邑 朋矢	上田美小枝	石島 陽子	笠原 進	小野 大輔	黒田 実樹			小野由美子
市長提出議案	71	新座市公告式条例の一部を改正する条例	原案可決	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	25	0	
	72	職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	25	0	
	73	新座市重度心身障がい者医療費支給に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	25	0	
	74	新座市児童発達支援センター条例の一部を改正する条例	原案可決	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	25	0	
	75	新座市水道事業給水条例及び新座市下水道条例の一部を改正する条例	原案可決	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	25	0	
	76	新座市水道の布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準を定める条例の一部を改正する条例	原案可決	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	25	0	
	77	令和7年度新座市一般会計補正予算（第4号）	原案可決	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	25	0	
	78	令和7年度新座市一般会計補正予算（第5号）	原案可決	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	18	7
	79	令和7年度新座市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	25	0
	80	令和7年度新座市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	25	0
	81	令和7年度新座都市計画事業新座駅北口土地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	25	0
	82	令和7年度新座市水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	25	0
	83	令和6年度新座市一般会計歳入歳出決算認定について	認 定	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	18	7
	84	令和6年度新座市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	18	7
	85	令和6年度新座市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定	○	議 長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	18	7
	86	令和6年度新座市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	18	7
	87	令和6年度新座都市計画事業新座駅北口土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	25	0
	88	令和6年度新座市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	原案可決及び認定	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	25	0
	89	令和6年度新座市公共下水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	原案可決及び認定	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	25	0
	90	財産の取得について〔教育用可動式コンピュータ〕	原案可決	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	25	0
	91	新座市道路線の認定について〔市道第1291号線〕	原案可決	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	25	0
	92	新座市道路線の認定について〔市道第1292号線〕	原案可決	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	25	0
	93	新座市道路線の廃止について〔市道第6183号線〕	原案可決	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	25	0
	94	町の区域を変更することについて	原案可決	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	25	0
	95	令和7年度新座市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	25	0
提出委員会 提出議案	1	新座市議会傍聴規則の一部を改正する規則	原案可決	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	25	0
議員提出議案	17	県民活動総合センターを廃止しないことを求める意見書	否 決	×		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	7	18	
	18	生活保護基準引下げ「違法」の最高裁判決を踏まえ、速やかな対応を求める意見書	否 決	×		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	7	18	
	19	消費税率5％への引下げとインボイス制度の廃止を求める意見書	否 決	×		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	7	18	
	20	消費税を廃止することを求める意見書	否 決	×		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	7	18	